

第2回 PTA ミーティング 議事メモ

副会長 記

	オンラインの部	対面の部
日時	2025/5/17(土) 10:00~10:40	2025/5/17(土) 18:00~19:00
場所	Zoom	半田コミセン2階 集会室
参加者	教職員2名、保護者3名（拡大三役含む）	教職員1名、保護者9名（拡大三役含む）

内 容：以下のとおり

1. オープニング（PTA 会長ごあいさつ）

- 土曜日のお忙しい中お集まりいただき感謝申し上げる。決めるべきことが多数あるなか、会員みなさまからの素直な意見を頂戴したい。

2. 本ミーティングの目的、方法

3. 全体スケジュールの共有

4. これまでの検討内容紹介

5. 問題点の提示

- 資料を用いてご説明

6. ディスカッション（ご意見抜粋）

- PTA 活動に積極的に携わる前までは、PTA の事が良く分からなかった。しかしながら、やってみて分かってくることがあった。入退会問題の件について、最初は、なんで払っていない人が居るのに、ずるいと思った。しかし、今回法を調べたことにより、半田小学校の子ども達のための PTA なのだと感じた。入っていないから恩恵を受けないとかそういうことではなく、半田小の子どものためであって、PTA 加入している世帯だけのための PTA ではないということを会員の方々にも分かっていただければと思う。
- PTA とは Parent-Teacher Association なので、チャイルドは入っていない。保護者の入る、入らないに関わらず、子どもが恩恵を受けることが大前提。入っている世帯の子どもと、入っていない世帯の子供の差別や区別は、議論にならないもの。お金を出したり、労働したり、役員をするルールだったりというのがあるので、そういったところをルール化していくのが今年度。皆さんが納得できる形で進めていければと思う。
- 半田小には2年ルールがある。下の子がどれだけ入ってきても、PTA 役員をやらなくてよいメリットがある。子供が多い方はそうだと思う。半田小は一人一回役員をするルールだから、拡大三役を経験しない場合には4年生くらいから役員2巡目がスタートしてくる。学年の人数によっては3回する方もいた。
- コロナ後初のミニミニえんま市では、感染症対策として様々な制約のある中、副会長が苦勞してイベント開催まで漕ぎつけていた。そういったことを役員がやっているということは提示し

た方が良いと思う。

- 芸術鑑賞は全員参加なので、費用を学校経費として集めるのも手と思う。ミニミニえんま市は休日の自由参加なので、工夫が必要。
- PTA 会費を完全廃止し、学校運営費等として加入者・非加入者に関わらず全員から同額を集めるのも手と思う。そうすれば、金銭的な不公平感は完全に切り離せて、ボランティア労働力だけの問題となり、皆さんの理解も得やすいと思う。
- たまたま同じ職場の方から半田小 PTA に係る話を聞いていた。資料中にも各役職の役割を見える化する旨の記載があるが、そもそも初めて PTA に関わる身とすると、それ以前にも専門用語がわからない。「三役」や「拡大三役」も良くわからない。細則にある組織図も分かりづらい。各地区委員長は本文中では校外指導部の下と書いてあるが、組織図では会長直属のように見える。こういったこともあり、組織図自体が分かりづらい。これが、それぞれの役職の仕事が分からないところにもつながると思う。前回ご意見にもある、「役員が漠然と難しそう」というところは、私も全く同意見。
- 三役は、今回の資料を見るだけでも労力がかかっていることが分かる。もしも三役になった場合には、これを仕事の片手間でやらなければならないことに不安感がある。今年が特別なのかもしれないが。
- PTA の仕事について、漠然と毎年やってきたことを続けるのではなく、スリム化が必要と感じる。今後皆さんの負担を少なく、PTA 活動を継続できる方法を模索できればと思う。例えば、PTA の役割として「子供が安心できる環境」にフォーカスして、通学路における子どもの安心安全を確保するとか、そういった活動のみに絞っても良いと思う。
- 三役提案の方針に対しては賛成。
- PTA 加入・非加入の問題は、首都圏の様子等から、柏崎市でもこういった問題が発生するのではないかと以前から憂慮していた。三役提案内容には賛成。
- どうしても引っかかるのが、PTA 会費のところ。「PTA は子供に対してのボランティア」について、労力の部分はイメージしやすい。しかしながら、PTA に入っていない家庭に対する「お金のボランティア」は、どうしても不公平感がある。PTA 会費については、他の方も提案の通り、保護者会費などとして、学校の経費として引くと分かりやすいのでは。その方が、皆さんの理解を得やすいかなと思う。イベントなどの際、その都度回収するのも手。「PTA 会費」という表現の問題かと思うが、工夫が必要。
- 個に還るものは実費負担と思う。例えば、卒業証書ホルダーなど。その場合、非加入世帯の子どもだけが違うものを持ち、傷ついてしまうかもしれないため、非加入世帯への配慮として、PTA で用意する物を非加入世帯へ事前通達するなどの工夫が必要かもしれない。
- 会長、副会長が資料を作って話し合ってくれているが、アンケートしてくださいという手紙が来ても回答が少ない。私の周りの人も PTA があった方が良いのか、なくても良いのかという意見もある。手紙でも良いので、こういった活動の詳細を知らせた方が良い。学校のイベントや学年行事で、PTA 役員のこの役の人が関わっているとか、PTA 会費からモノが用意されている等、お金の出どころの表示もした方が良いのでは。
- 場には参加させて頂いているが、ミーティングでの内容について、よくわからないのが正直な

ところ。

- 保護者と先生の団体であるという観点でありながら、子ども達を平等に扱わなければならないとあり、参加するのは保護者だけど、保護者が平等でない。保護者に関する法律がないなら、あまり深く考える必要はないのではと思う。
- 子供に関しての法律整理がされたから任意団体、子どものために動いていきたいという気持ちもあるが、入っていない保護者に対しては差をつけて良いのではないか。
- 取扱事業者としての PTA が非加入世帯情報を把握できないというところは理解するが、お金の徴収にしても、労力にしても、何かしらの形で入っていない方には負担してもらおうと良いと思う。
- PTA ミーティングの参加率が低い。アンケート回答数も少ない。皆さん、自分ごととして捉えていないのでは。ミーティングに参加して、色々な方の意見を聞いてほしい。対話してほしい。今年度役員の方が苦勞して取り組んでくれているので、ミーティングは時間が合わず参加できないとしても、せめてアンケート回答はしてほしい。そういったことをしていない人が、後になって文句を言うのは筋違いだと思う。

7. クロージング

- ご意見中のポイント
 - ✓ 三役提案事項は概ね了解
 - ✓ お金の部分について、引き続き議論が必要
- 先生方ご挨拶
 - ✓ PTA 会員皆さんに感謝申し上げる。費用負担、活動負担の中、公平感のある仕組みづくりに苦慮するところ。そのような中、半田小学校 PTA の在り方について、皆さんで考えていることは素晴らしい。みんなで決めていくことが大切。子供たちのために、学校のために実施して下さる皆様に感謝申し上げます。先日の奉仕作業、来週の運動会も皆さんの協力あってこそ。時代の流れとともに変わる PTA だが、都度皆さんで集まり、考えることができればと思う。(校長先生：オンラインの部)
 - ✓ 休日午前中に集まって頂き、感謝申し上げます。こういった議論を続けることに意味がある。法的根拠の裏付けも良い。引き続き議論をしていければと思う。(教頭先生：オンラインの部)
 - ✓ いま学校には、以前半田小の教頭をしていた職員がいる。その方も私も同意見だが、半田小は PTA 独自の立ち位置がしっかりしていて、自分たちの子どものための団体としている。入退会関係の件も、三役が勝手に決めるのではなく、このようなミーティング等を通じ、会員の意見を聴取しながら決定していることは素晴らしい。引き続き取り組んでいただければと思う。(校長先生：対面の部)

以上